

血液保存液成分

CPDA液の成分分量(W/V%)

成分	CPDA
クエン酸ナトリウム水和液	2.63
クエン酸水和液	0.327
ブドウ糖	2.90
リン酸二水素ナトリウム水和物	0.251
アデニン	0.0275

カーミCA液 規格・仕様

バッグタイプ	バッグ容量	規格	備考	包装単位
シングル	200ml	KBS-200CA8L(C)	採血針18G、側管付き	10セット入り/箱 (アルミ袋個別包装)
		KBS-200CALL(C)	採血針なし、側管付き	
		KBS-200CA8LW	18G翼状針、側管付き、針刺し事故防止装置付き	
	400ml	KBS-400CA8L(C)	採血針18G、側管付き	
		KBS-400CALL(C)	採血針なし、側管付き	
		KBS-400CA8LW	18G翼状針、側管付き、針刺し事故防止装置付き	
トリプル	200ml	KBT-200CA8L(C)	採血針18G、側管付き	
		KBT-200CALL(C)	採血針なし、側管付き	
	400ml	KBT-400CA8L(C)	採血針18G、側管付き	
		KBT-400CALL(C)	採血針なし、側管付き	

カーミCA液承認番号:21100AMZ00693000
カワスミバッグ承認番号:15700BZZ00489000

ご使用の例

採血開始

本品を滅菌袋から取り出す。
 駆血帯を上腕にかけて、静脈穿刺位置を決める。
 皮膚消毒を行う。
 (先端が採血針の場合) 外気がバッグ内に入るのを防ぐために分岐部と採血針間のクランプを閉じ、採血針のキャップを外す。採血針を静脈に穿刺し、分岐部と採血針間のクランプを開き、採血を開始する。
 (先端が翼状針の場合) 外気がバッグ内に入るのを防ぐために分岐部と翼状針間のクランプを閉じる。採血バッグと分岐部間の連通ピースを折って開放し、針キャップを外す。翼状針を静脈に穿刺し、分岐部と翼状針間のクランプを開き、採血を開始する。
 (先端がオスコネクターの場合) 外気がバッグ内に入るのを防ぐために分岐部とオスコネクター間のクランプを閉じ、採血バッグと分岐部間の連通ピースを折って開放する。翼状針又はプラスチックカニューレ針等を静脈に穿刺後、オスコネクター部のキャップを外し、清潔操作に留意して翼状針又はプラスチックカニューレ針等に接続する。分岐部とオスコネクター間のクランプを開放し、採血を開始する。

採血中

採血中は採血流量を観察しながら、常にバッグを緩やかに振って血液保存液と血液を十分混和させる。

採血終了

採血が完了した後、直ちに採血針と分岐部間のクランプを閉じる。
 分岐部と採血バッグ間のチューブをクランプもしくは鉗子にて閉じる。
 チューブシーラーを用いて分岐部と採血バッグ間のメインチューブをシールし、血液バッグを切離する。
 切離後、血液バッグを数回転倒し、血液と保存液を混和する。

補液を行う場合

採血針と分岐部間のクランプを閉じる。側管の連通ピースを折って開放し、メスコネクターのキャップを外す。
 採血針と分岐部間のクランプを開放する。メスコネクター部から逆血もしくはシリンジで側管内のエアを排出し、採血針と分岐部間のクランプを閉じる。
 プライミング済みの輸液セットの先端(オスコネクター)を側管のメスコネクターに接続する。
 採血針と分岐部間のクランプを開放し、補液を行う。
 補液完了後は、輸液セットのローラークランプを閉じ、抜針する。

補液終了

静脈から採血針等を抜いて、通常の方法でセグメント(検査用検体チューブ)を作成し、血液バッグの保管を行う。

ただし、効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書を参照されたい。

警告 ご購入の際は必ず付属の添付文書をご覧になり、内容を十分理解された上で、ご使用ください。同書内容に従わなかった場合、重大な事故に結び付く可能性があります。

●形状および仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

製造販売業者

SBカワスミ株式会社

〒210-8602 神奈川県川崎市川崎区殿町3丁目25番4号
 TEL 044-589-8070 URL www.sb-kawasumi.jp

代理店

自己血用血液バッグ
カーミCA液

自己血輸血関連製品

BLOOD
BAG



BLOOD BAG

CA、KLシリーズで 自己血輸血をより安全に、より効果的に。

自己血輸血用バッグ「カーミ®CA液」は、CPDA液の採血により血液の保存が最高35日まで可能です。(但し細菌汚染の恐れがある場合はこの限りではありません)
単純採血での術前貯血量の増量が可能になったことにより、大部分の待機的手術で面倒な戻し輸血や、凍結保存を行うことなく目標貯血量を達成できます。
自己血の採血に最適なKLシリーズは、長年にわたる実績で高い信頼性を得ています。

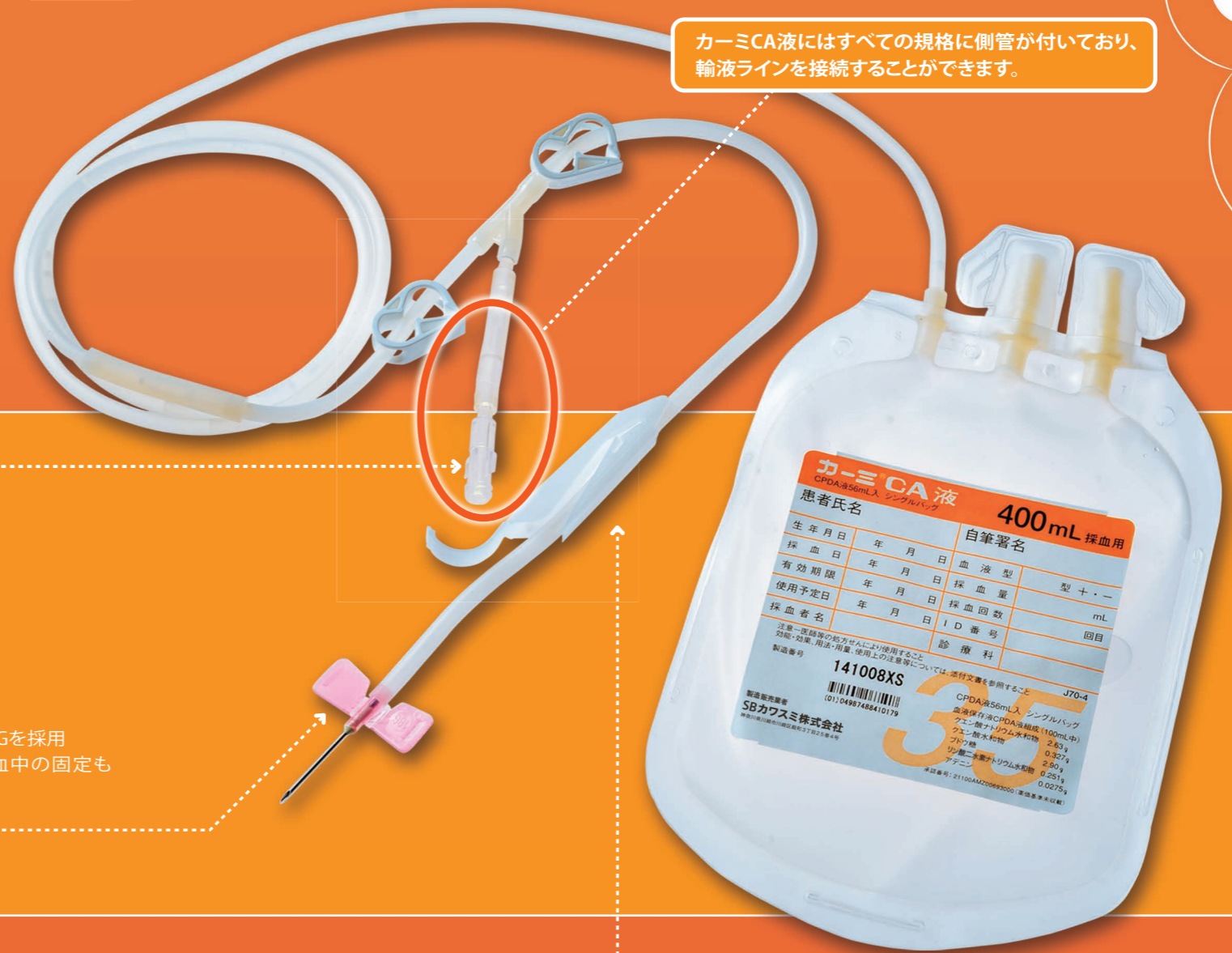
カーミCA液にはすべての規格に側管が付いており、輸液ラインを接続することができます。



コネクター
コネクター接続部は安全なロックタイプ



採血針
採血針は侵襲の少ない18Gを採用
血管を穿刺しやすく、採血中の固定も容易な翼状針を採用



周辺機械 KLシリーズ

KL-103



ドナーメイト(採血器)

KL-153



チューブシーラー

KL-195



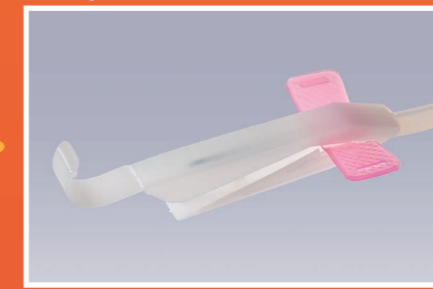
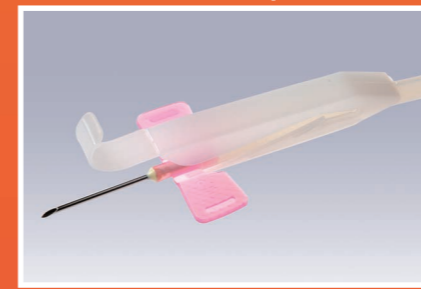
ハンドシーラー

KL-140



チューブストリッパー

マスターガード(針刺し事故防止装置)



抜針の際にマスターガードに翼状針を収納することで安全な取扱いが可能。